

### 7 - 3 地震予知研究計画にもとづく地磁気永年変化精密観測 1977年1月～1981年9月

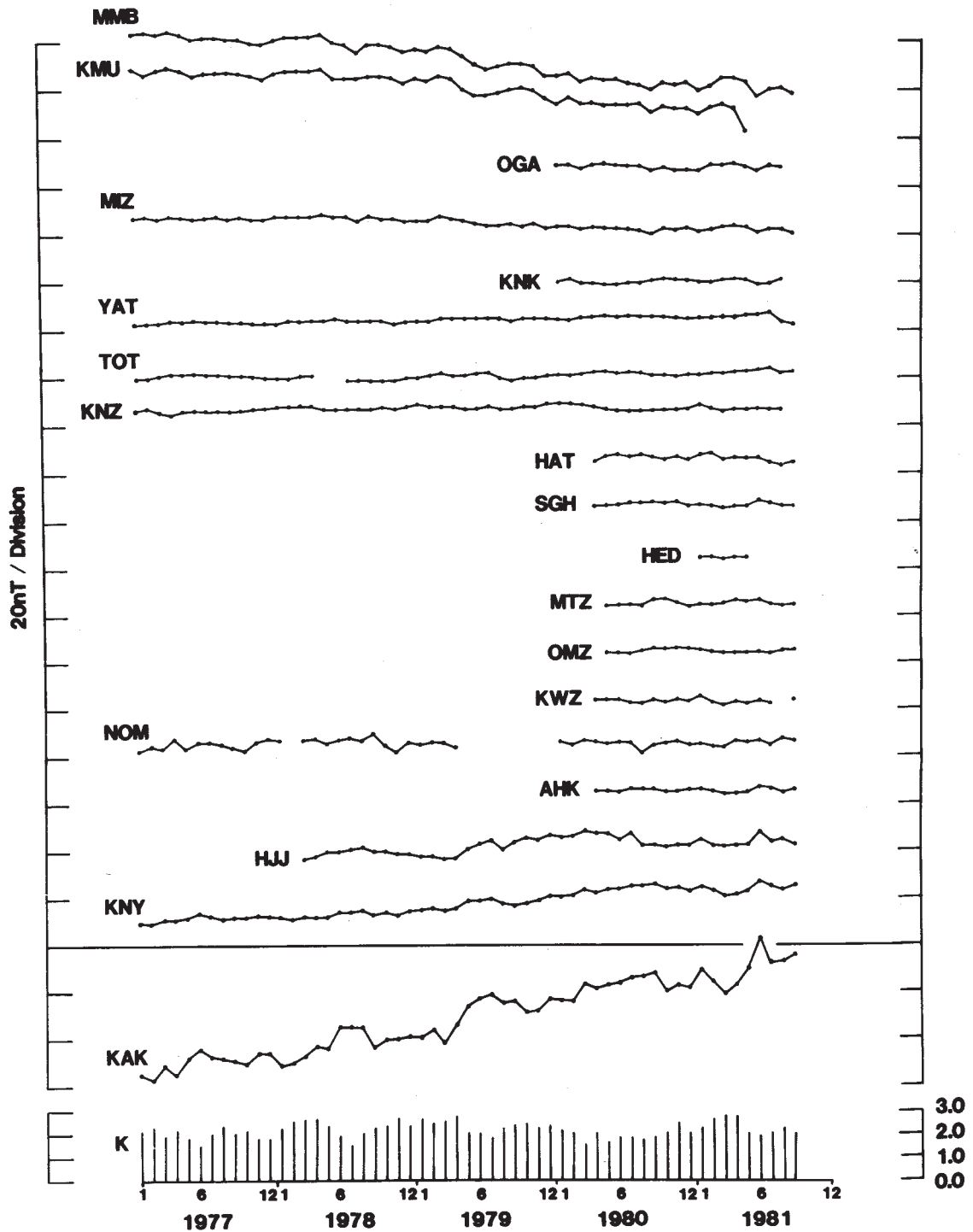
Precise Observation of Geomagnetic Secular Variation under the Project of  
Earthquake Prediction Research, January, 1977 - September, 1981

地震予知研究計画・地磁気研究グループ  
Geomagnetic Research Group on Earthquake Prediction

1977年1月から1981年9月までの期間における柿岡を基準とした地磁気永年変化観測点のプロトン磁力計による全磁力夜間値差を整理収録したものである。各地点の全磁力差, 柿岡の全磁力値, 柿岡の該当時間帯のK指数それぞれの月平均値を第1図に示す。スケールは20nT / 1目盛。なお, 使用データは, 1980年3月以前は00時40分～01時20分の5個, 1980年4月以降は00時40分～03時00分までの15個, の10分毎の値である。ただし, 男鹿, 金華山については全期間を通じて5個である。

最近の結果を概観したところでは, 上杵臼で1981年4月に2nT, 八ヶ岳で1981年6月～9月に4nTの大きな変化があった。前者は測器の不調が原因と考えられる。後者については7月中旬の雷による影響とも考えられるが, はっきりしたことはわからない。また, これらを除けば, 全体として顕著な異常はない。

# DIFFERENCES IN TOTAL FORCE WITH REFERENCE TO KAKIOKA



第1図 柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化, 1977年1月  
 ~1981年9月

Fig. 1 Month-to-month change of the difference of nighttime total-force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from January, 1977 to September, 1981.